

JCD関東支部賛助会員

みはし株式会社	高安 晃久	埼玉県和光市白子3-26-43 tel:048-464-3112 fax:048-466-1034 http://www.mihasi.co.jp
西澤工業株式会社	西澤 康明	群馬県高崎市上並榎町445 tel:027-362-6234 fax:027-362-6462 http://www.nishizawakk.co.jp
株式会社ブランドゥ・モトハン	藤原 巧	東京都練馬区下石神井3-9-10 ガーデンハウス・ベル石神井1-101 tel:03-5923-6505 fax:03-3904-1920 http://www.plando-group.co.jp
株式会社本間工芸	本間 克典	神奈川県相模原市緑区長竹887-3 tel:042-780-0160 fax:042-780-0173 http://www.honmakougei.sakura.ne.jp/
株式会社大川工務店	大原 史弘	東京都目黒区緑ヶ丘2-15-13 国領ビル206 tel:03-3705-5605 fax:03-5701-0383 http://www.ohkawakoumuten.jp
桐野建設株式会社	桐野 温	埼玉県三郷市栄4-258-1 tel:048-954-6606 fax:048-954-6628 http://www.kirino-kensetsu.com
アルプス株式会社	原 康喜	東京都新宿区早稲田南町33 tel:03-3207-0006 fax:03-5272-0051 http://www.alps.co.com
ソリュート株式会社	奥 弘史	東京都千代田区東神田2-7-1 広部ミヤケビル6F tel:03-5809-2815 fax:03-5809-2816 http://www.esg-japan.com
YKK AP株式会社	東 裕信	東京都墨田区亀沢3-22-1 YKK 60ビル tel:03-5610-8435 fax:03-5610-8436 http://www.ykcap.co.jp
株式会社日吉屋	平山 大輔	京都府京都市上京区百々町546 tel:075-441-6644 fax:075-441-6645 http://www.wagasa.com/
株式会社ユニオン	沼田 健一	東京都江東区白河2-9-5 tel:03-3630-2811 fax:03-3630-2816 http://www.artunion.co.jp
株式会社ドラフト	霜田 香織	東京都新宿区四谷4-28-4 YKBインサインビル12F tel:03-5366-6100 fax:03-5366-6101 http://www.draft.co.jp/
株式会社和興	貴田 健大	東京都港区東新橋1-1-21 今朝ビル8F tel:03-6274-6222 fax:03-6274-6223 http://www.k-wakoh.co.jp/
有限会社原田左官工業所	原田 宗亮	東京都文京区千駄木4-21-1 tel:03-3821-4969 fax:03-3824-3533 http://www.haradasakan.co.jp/
Soranna Avenue株式会社	ソランナ マルコ	東京都大田区仲池上2-18-14 グランイーグルII-601 tel:090-8304-1458 http://www.sorannaavenue.co.jp
株式会社博報堂	細野 百子	東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー tel:03-6441-8221 http://www.hakuhodo.co.jp
株式会社オーツー QUON TOKYO	西盛 正知	東京都港区港南3-4-27 WAREHOUSE2F tel:03-6433-1075 fax:03-6433-1076 http://www.otu.co.jp
株式会社SIXINCH. ジャパン	乾 敦雄	東京都渋谷区松濤1-26-18-1F tel:03-6416-8800 fax:03-6416-8801 http://www.sixinch.jp/
株式会社GLORY	申東照	東京都北区浮間4-23-25 tel:03-3969-2591 fax:03-3969-2592 http://www.gloryad.jp
ウッド建材株式会社	志村 孝広	埼玉県入間郡三芳町上富890-1 tel:049-258-7679 fax:049-257-0756
株式会社ミネルバ	根井 淳	神奈川県横浜市神奈川区青木町5-25-902 tel:090-9822-7662 fax:045-441-8158 http://minerva-jpn.co.jp
有限会社Tommy's Works	田澤 淳一	東京都練馬区練馬4-15-23 パークサイドハイツ205 tel:03-6764-1000 fax:03-6767-6434 http://tommys-works.jp
株式会社NENGO	藤松 豊	神奈川県川崎市高津区下作延7-1-3 tel:044-829-3383 fax:044-829-3329 http://www.nengo.jp
株式会社CROWN	所 奈津子	東京都港区北青山2-10-28 1F tel:03-3479-5553 fax:03-3479-5554 http://www.area-japan.co.jp
インターフェイスジャパン	福島 祥子	東京都港区虎ノ門5-1-4 東都ビル6F tel:03-5733-5211 fax:03-5400-6160 http://www.interfacefor.jp
中愛株式会社	岩田 仁志	東京都大田区多摩川1-31-12 tel:03-5732-0661 fax:03-5732-0660 http://www.chuai.co.jp
株式会社クラマスTK.B	小渡 庄右工門	東京都板橋区並根3-27-17 石井ビル3F tel:03-5948-7248 fax:03-5948-7249 http://www.kuramasu.co.jp
アルティ株式会社	北村 健志	東京都港区南麻布4-11-30 南麻布ビル1F tel:03-5449-2500 fax:03-5449-2920 http://www.arti-tokyo.com
株式会社オフィス空間	菊池 文雄	東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マーケティウエスト14F tel:03-5457-1333 fax:03-5457-1555 http://www.officekukan.jp
株式会社シンクロ・フード	石井 昌彦	東京都渋谷区恵比寿南1-7-8 恵比寿サウスファン7F tel:03-5768-9522 fax:03-5768-9532 http://www.synchro-food.co.jp/

2016年2月末現在

噂の商業施設

IV. & SONS (ワイアンドサンズ)

神田明神の参道入り口にある、メンズきものテラーです。きもので全国展開する「株式会社やまと」の新業態で、男のための気軽にオーダーでき、オシャレで、個性ある提案の店舗です。

■東京都千代田区外神田2-17-2 Tel:03-5294-7521 定休日:毎週水曜日



2017
0331

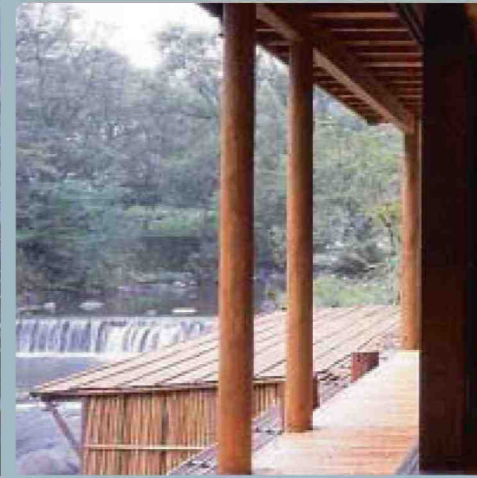
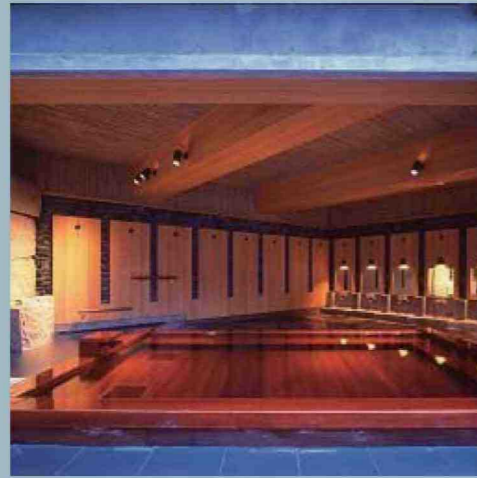
JCD kanto publishing

関東支部
研究セミナー委員会

関東月例会 とくトーク

'16 November
2016年11月18日
18:30~21:30

JCD事務局で語る
海老沢流
温泉建築史



3回目のトークゲストは建築家の海老沢宏氏に温泉建築について語っていただきました。誰もが温泉は好きで、嫌いな人は、いないのではないのでしょうか。

商環境の設計においては中々取り扱わない分野ですが、海老沢氏のデザイン設計の中には温泉+商環境をドッキングした、新たな温泉空間を表現しております。今回の作品説明は国内では箱根、宮崎で国外では中国の物件をご紹介していただきました。

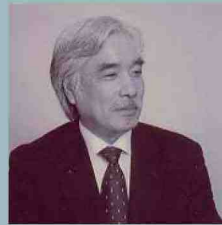
箱根は天山湯治郷で箱根湯本からおおよそ徒歩で20分程度の近郊にあり、3つの温泉が集約された湯治郷です。「ひかな湯治天山・かよい湯治一休・逗留湯治羽衣」都心にある古民家などを集め、集落を形成して出来たものです。未だにリノベーションが続いており、海老沢氏の情熱が伝わる、温泉デザインの集大成です。

宮崎ではシーガイアをリノベーションしたもので、新たにフェニックスシーガイアリゾート温泉なすけられた温泉施設です。広大な敷地内に数種類の温泉が配置され、老若男女すべての方々が利用できる温泉パラダイスになっているようです。海老沢氏の建築デザインは氏の手書きスケッチがすべての基本デザインになっており、スケッチもまた素晴らしい感性で仕上げられたものになっています。

中国の物件は、その国のイメージと日本の温泉をミックスしたデザインが垣間見た感じがいたします。どの空間も海老沢流温泉学が表現された素晴らしい温泉施設になっております。海老沢氏は著書などを数多く出されておりますので、機会があればぜひご愛読ください。

今回のとくトークでは90年代に盛んに行われてた鍋塾が復活し、トーク後は三種類の鍋を堪能しながら、海老沢氏を囲んで楽しい時間を過ごしました。

関東月例会 とくトーク委員長
コーディネーター／福田裕治
執筆／福田裕治



トークゲスト
海老沢 宏氏
有限会社 海老沢環境工
房 代表取締役
公益社団法人 日本インテ
リアデザイナー協会 JID
理事
日本建築家協会会員
一級建築士

Profile
1972年 東京造形大学造形学部卒業
著書・研究
「ONSEN」六耀社「デザイン辞典」共著 朝倉書店「実践家庭科教育大系 第16巻 住居の空間術」共著開隆堂刊
小論文:アーバンインテリアの確認とインテリアランドスケープの発見 など
主な作品
ホテルエストリル・ソール・アネックス・リノベーション(ポルトガル) / 唐松温泉唐松コテージ・クマラ・バン・ヘーガルホテルリノベーション(バンドン、インドネシア) / 陽成社、八ヶ岳保養所 / 武雄センチュリーホテル / あさひ銀行代官山支店 / 所沢パークホテル / 長南町特別養護老人ホーム / フェニックスシーガイアリゾート温泉ゾーン / 軽井沢山荘 / ホテル札幌中島公園 / 渋谷セーデビル / バンヤントリー西安アンサナホテル温泉バス棟 / 大連安波温泉ホテル
主な活動
1992年 USAルネサンス'92ホテルリノベーション部門グランドプライズ(作品 ハイアットリージェンシーワイキキ、レストランリノベーション) 1994年 ポルトガルデザインセッション・パネリスト 2000年 FM東京スタジオデザインコンペティション1等



会員の近況報告



「シガーと25年とデザインと」



西脇 一郎(にしわき いちろう)
株式会社 西脇 一郎デザイン事務所
社団法人 日本環境設計家協会 正会員
東京都中小企業振興公社 登録デザイナー
東京商工会議所 エキスパートバンク 登録デザイナー
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 商業活性化アドバイザー
専門学校 桑沢デザイン研究所 非常勤講師
社団法人 日本皮革産業連合会 企業支援ネットワーク 登録アドバイザー

早いもので飯島直樹さんの事務所を卒業し、デザイン事務所を開設してから25年が経ちました。25年前と言えば1991年、バブルが崩壊した年です。当時はあたり前ですが、そんな事とはつゆ知らず、子供の頃(幼稚園)からの夢だった自身の事務所デザイナーとしてはりきって日々を過ごしていました。しかしどうも周りの雰囲気暗く静かで、仕事を頂ける約束も無期延期など幸先が非常に困難なスタート。そこで思いついたのが「ローコストの魔術師」と自分で名付け、クライアント廻りです。その際ご縁を頂いたのが(株)メルローズ/5TH CLUB.とインポートブランドのKOOKAIだったことを思い出します。その後、徐々にアパレルのブランドが増えていき、マジシャンとして繁盛店を作り続けさせて頂きました。あつと言う間の25年でしたが、その後もリーマンショック・消費税増・震災節電等、振り返れば色々な出来事が脳裏に浮かびます。その時いつも支えてくれた副社長、スタッフ達と共に歩んだ25年でした。今年26期目に入り、インバウンドショック・オリンピック開催余波等まだまだ出来事は続きそうですね。デザインも、クライアント側にも世代交代が相次ぎ、オリジナル性は基より、確実なデザイン(先方のビジネスの成立)が最重要との依頼がほとんどです。それは現代の若者の消費にも良く似ており、何をしたいのか(売りたいのか)わからない中で情報だけは十分すぎる程認識していてそこに共有出来るパートナーを捜しての依頼を頂くケースが多いです。経験量、情報量、デザイン力の順番でしょうか。それでも今、消費者は「物から事」に移行しており、そこでの売り方、宣伝の仕方までアフターケアも要求されます。最近積極的にやらないと決めていた海外の仕事もちちらちと依頼が増え、異国文化の違い、環境ルール等デザインに到達までにかかなりの基本情報の理解に時間がかか

り、それらを取得した上でやっとクライアントに安心感と信頼を築きます。言葉の壁もあり中々デザインの考察にならないのも昨今です。しかし何事も経験。一度熟知してしまうと後はデザインの解決のみ、そことなく初心に戻る事ができ新鮮でもあります。いろいろな国のいろいろな人に出会い、スタッフ達と苦しみながら楽しんでやっているといたところ。最近、タバコもたしなみますが、葉巻をリセットの為楽しんでます。昔は何が良いのか分からなかったのですが、年をとるたびに煙の香りの奥行きさを感じます。例えば、十数年前(株)モデュレックス 暁道 悟朗社長から御指南頂き、今では辻厚成先生主催の葉巻協会にも入らせて頂いています。ファッション同様、喫煙具(ライター・シガーケース等)も集まり始め、週末や出張の際の余暇の一時の供としていつも一緒に持ち歩いています。最近では世界的に禁煙を提言されていますが、その裏腹にキューバ産のシガーに座り心地の良いイスでフレッシュフルーツのカクテルでの一時間は当分やめられそうにありません。極めるとお茶と一緒に、カットの作法、火の付け方から葉巻の持ち方迄、奥の深さを感じる今日このごろです。昨年4月にバーを開設しました。シャンパンとシガーをメインにした12席程のコンパクトなお店です。店内には副社長が自らケニアで撮ってきたチーターの写真天井と壁にあしらひ、櫛のカウンターで、パカラで、ポサノバで。まだ開設して1年ですが、近所のミュージシャンやアパレル関係の方に隠れ家的に楽しんで頂いています。店名は「LIQUOR and CIGARETTES M」。是非皆様一度検索して頂き、近くにお越しの際は御立ち寄り頂ければ幸いです。追伸、丁度この原稿を書いた夜、友人の「Vンダム級チャンピオン山中慎介君がV12を達成しました。



関東支部 冬のパーティー



2016年12月8日、「ヒューマックスパビリオン渋谷」で行われた、JCD冬のパーティーの来場者数は170名で、前回の最高記録を更新した。寒空の下、眠らないこの街で、会場は大勢の熱気に包まれ、熱い夜に...

JCD WINTER PARTY

交流委員会 副委員長 雲野 一鮮

ハロー——、JCD冬のパーティーへようこそ。こんなに沢山のオーディエンスが集まっていた、サンキュ、感謝してます。トップデザイナーや建築家、メーカーで構成される4つのバンドの一夜限りの共演をたっぴりと楽しんでもらえればと思います。今夜はスペシャルな夜だぜ、弾けるぜ! それじゃあバンド紹介! まずは、愛すべき賛助会員のグループ。30代から40、50、60代まで4世代が揃い、リーダーはオンドラムス、OKU氏率いる「奥バンド」! 次はバンド結成10年。ブルーハーツの曲で今日も飛び跳ねます。50になってもパンク続けるぜ、「片山工務店バンド」! だいぶ体があつたまってきたところで、後半は大阪から乗り込んできた、JCD関西支部の「45.3+ ウィンナーガールズ」リーダーはMAMIYA氏で、5名のメンバーに女性コーラス3名。ちなみにバンド名の45.3は平均年齢とか。そして最後を飾るのは...ロマンスグレーのウィッグを被り、今日はメンバーみんなでKOSAKA RYUの「JCDバンド」の登場だぜ! 今宵のスペシャルGIG(ギグ)に参戦いただいた、オーディエンスやバンドメンバーの皆さま、毎回イベント成功の為に尽力されているスタッフや交流委員会の折原氏と窪田氏と関東支部長の小田氏にも感謝です。サンキュ、愛してます!

(撮影・執筆/雲野一鮮)



サカイリブ主催「srilanka」建築ツアー」レポート

■ジェフリー・バワ 探訪記

特別委員長 星 明臣



Geoffrey Bawa 1919~2003

2003年に83歳でなくなるまで、故郷スリランカをベースに精力的に活動した建築家、ジェフリー・バワ。土地の風土文化に根差し、自然と一体になることを目指した彼の建築。アジアリゾートの源流とも言われる彼の作品群に、今改めて注目が集まっている。

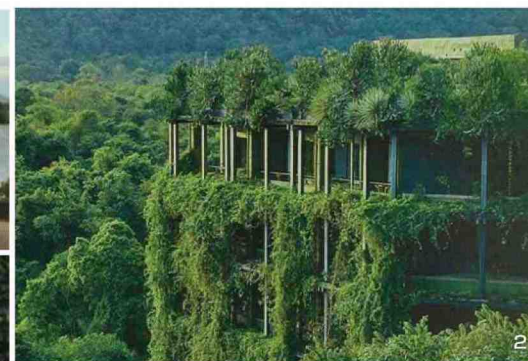
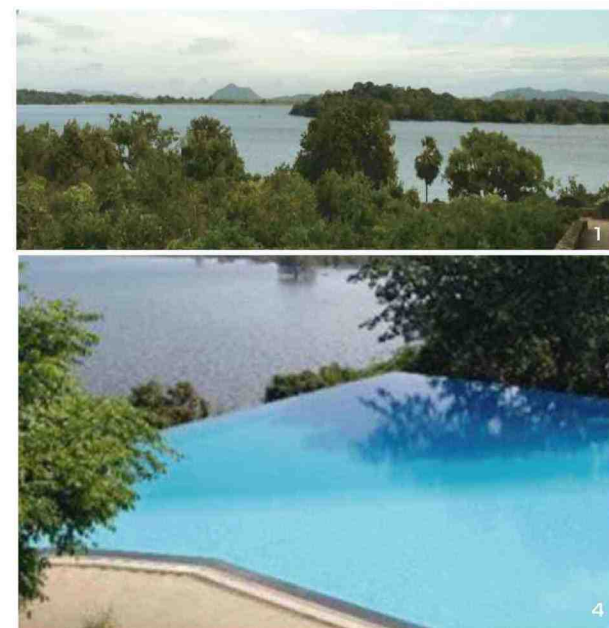
2016年6月、サカイリブ主催「srilanka 建築ツアー」に参加した。総勢61名という大所帯（JCD会員10数名が参加）大型バス2台をチャーターしての視察となった。

Sri Lanka インド洋の涙（真珠）と呼ばれ面積は、北海道の80%ほど、人口2000万人強。その70%が仏教徒。インドでは絶えてしまった古代仏教が温存され、今も篤く信仰されている。日本仏教会との結びつきは深い。ポルトガル、スペイン、英国の植民地を経て1948年独立。25年続いた内戦は、2009年終結。経済も発展を遂げつつある。

ジェフリー・バワは1919年スリランカ生まれ、ヨーロッパ系の血を引くスリランカ人。英ケンブリッジ大学を卒業後、弁護士として活動。その後、ロンドンのAAスクールで建築を学び、母国に戻って38歳で設計活動を始める。モンスーンアジアを主な舞台にその自然環境や文化への畏敬と西洋のライフスタイルとを見事に融合させて、開放的で魅惑的な世界を創り上げた。個人住宅から国会議事堂まで、手懸けた作品は数多いが、なかでもいわゆるアジアリゾートの原型となったホテルが、今大きな注目を浴びている。バワの建築が、いわゆるアジアリゾートの源流であるという伝説は、バリ島のサヌールビーチにある別荘建築に因む。アジアリゾートの代表格アマンの創業者 エイドリアン・ゼッカとの縁。スリランカよりさらに遠いバリ島を媒介にして、バワとエイドリアンは出会い、バワにインスピレーションを得て、アマンと言う名のリゾートホテルチェーンを創造した。バワがいなければ、アマンは生まれなかつたらう。20世紀の建築の世界は、新しいフェーズに踏み出した。（限 研 吾「熱帯建築家 ジェフリー・バワの冒険」より）

ここで少しわき道にそれるが、アジアリゾートの雄、アマンについて触れよう。1988年、タイ・プーケットに「アマンプリ」をオープンさせてから、バリやインド、ブータンなどアジアを中心に、独自のホテルを展開。現在では欧米を含め、全31カ所を有する。その土地の文化を尊重し、小規模でありながらラグジュアリー、僅かな客室数に対し大勢のスタッフが常駐する。ホスピタリティの行き届いたサービスは、世界中に「アマンジャンキー」と呼ばれる熱烈なファンを生み出している。サンスクリット語で平和を意味するアマンと言う言葉が付けたホテル名。それ以降のアジアンリゾートにさまざまな影響を与えてきた。日本に於いては、2014年初の都市型ホテル アマン東京、16年には賢島に、温泉を取り入れたアマンネムが開業。17年には東京と同じ都市型ホテルが上海に予定されている。

ところで、2000年のAPSDSA BALIへ参加したJCDメンバーは、ウブドのアマンダリを視察したのだった。アイコンとなったライステラスを借景にしたインフィニティプール 隠れ処的なアジアリゾートの一大ムーブメントの先駆けを体験。さてさて、そのウブドに2017年1月「星のやbali」が進出。運河状に張り巡らせたプールなど話題に事欠かない。2015年に関東支部が研修視察した「星のや竹富島」は、集落型のリゾート、アマンダリを研究しつつしたモデルと言える。星野リゾートは、「旅館」を武器に世界に打って出るとの事。興味は尽きない。



1：名前の由来になったカンドラマ湖、彼方にシギリヤロックを望む 2：鬱蒼としたジャングルに融けこんだホテル 3：5階のレストランホールの入り口、ラキ・セナナヤキの鳥のオブジェ
4：カンドラマ湖を正面に見るインフィニティプール 5：エントランス：建物が抱く岩山の一部分がむき出しのまま見える 6：客室にアクセスする「くの字」型の通路折、視線が遠くへ抜けてゆく



Heritage kandalama

1994

吹き抜ける風が心地よいヘリタンス・カンドラマ。内陸 サバンナエリア、古代に造成された灌漑湖：カンドラマ湖が名前の由来。鬱蒼としたジャングルと融けあった建築。建物の背景となる自然や風景をそのまま建築の中に取り込み、建築自体をもそれらに一体化・存在させた。世界にスリランカ人建築家バワの存在を知らしめた、おそらくバワ作品の中で最も高名な建築であろう。自然との境界を消去・曖昧にするバワの思想、自然美への驚嘆、慈しみと、それらへのつよい共感「アミニズム」が表出している。加えて、現代の快適な生活・新素材・建築技術を体系化したモダンイズム建築との融合、「アミニズム・モダン建築」が彼の信条と言える。バワを特徴づける建築言語は、島の自然の造形物「水」「巨岩」「緑」バワ作品が持つ立つ空間イメージの源泉と言える。

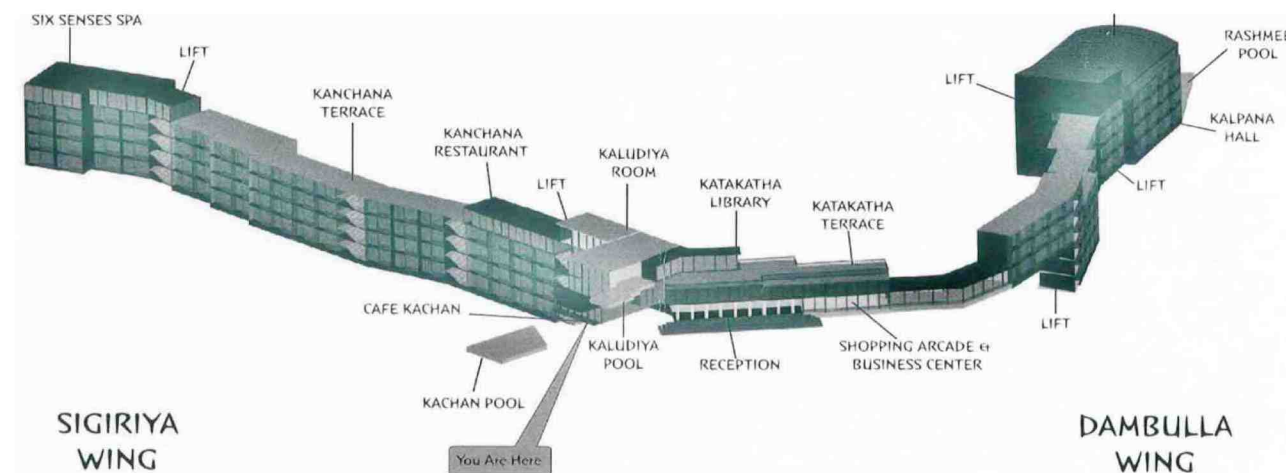
「水」
スリランカに於いて水の文化は島の古い伝統であり、稲作を基本とするスリランカの根源と言える。彼が水を制作の原点にしたことは自然の成り行きであったらう。カンドラマ湖を見下ろすようにホテルは建つ。

「巨岩」
人間の能力を超えた何物かの力や靈力を内在した信仰の対象として扱われてきた。当建築は、巨大な岩山を両腕で抱きかかえるようにして、2つのウイングが伸びる。端から端まで歩くと全長約1km、ホテルは岩山と共存しているのである。カンドラマ湖の対岸には、5世紀頃より天然の岩屋を、修行僧が瞑想や起居の場とした「ダンブッラ黄金寺院」や、シンハラ王朝の宮殿跡がある、高さ200mほどの「シ

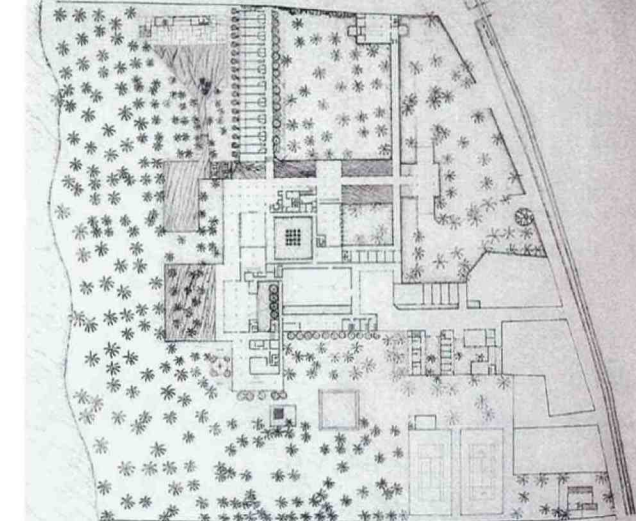
ギリヤロック」がある。古来より、スピリチュアルな空間として崇められてきた。共に世界遺産に登録されている。これらの古代伝説はゴールデン・トライアングルと呼ばれている文化・観光ゾーンである。当ホテルは、これらの伝説を訪れる旅行者のベースキャンプとして計画された。

「緑」
スリランカの乾燥地帯を旅すると、灌漑湖の水面から巨木が立ち上がる美しい風景に出会う。バワはこの不思議な巨木のイメージを心にとめてランドスケープに持ち込んだと言う。ヘリタンス・カンドラマの、鬱蒼としたジャングルと融け合ったさまは、まさにバワの思想「アミニズム」表出したものと言える。

1：アマンダリのインフィニティプール、ウブドの森に溶け込んでしまふ 2・3：アマンダリの集落・路地・隠れ処 4：レイアウトマップ 5：ヴィラで寛ぐJCDの皆さん



サカイリブ主催「srilanka」建築ツアー」レポート



PLAN ヤシの木が描きこまれている。左はインド洋

スリランカ南端に位置する港町ゴール。古くから東方貿易の要衝であったこの港町は、砦に囲まれた旧市街が世界遺産になっている。ジェットウイング・ライトハウスは、インド洋を望む岬の先端に位置する。外観は植民地時代の砦そのものを思わせる堅牢な石垣のエントランスだ。石垣を潜って内部に入る。すぐ大きなシリンダー状の螺旋階段が有り、パワの仕掛けたドラマが始まる。ゴールを侵略するポルトガル兵が題材だ。

オブジェの作者は、ラキ・セナナヤキ、パワのホテルに於いて、空間の必然として、異彩を放つ個性的なアートが存在することが多いが、ほとんどの場合、それはラキ・セナナヤキと言っている。さて、2階のメインフロアー、螺旋階段の先には、ラウンジ越しに吹き放ちのテラスがありそのままインド洋へと続いている。ホテルは、岬の岩山の上に建っていて、波が打ち寄せては岩に砕けている。

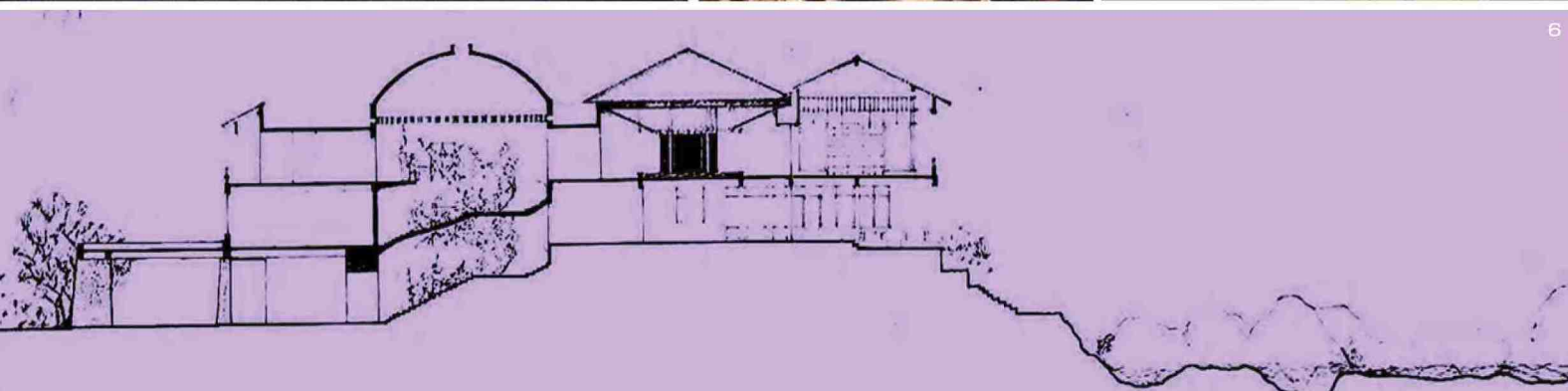
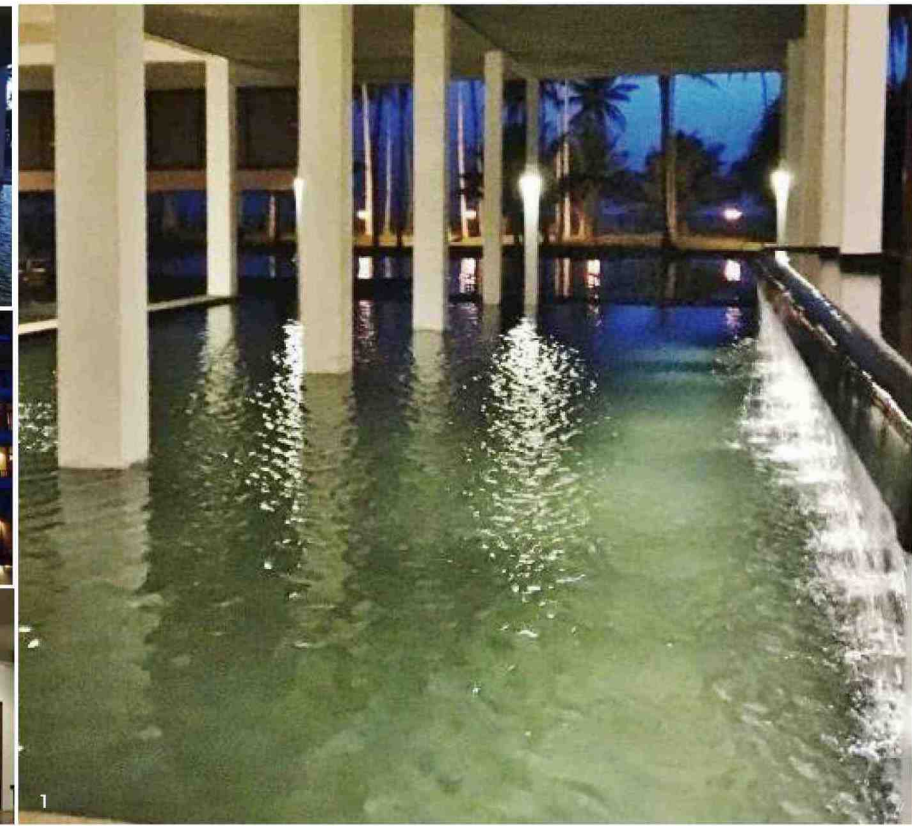
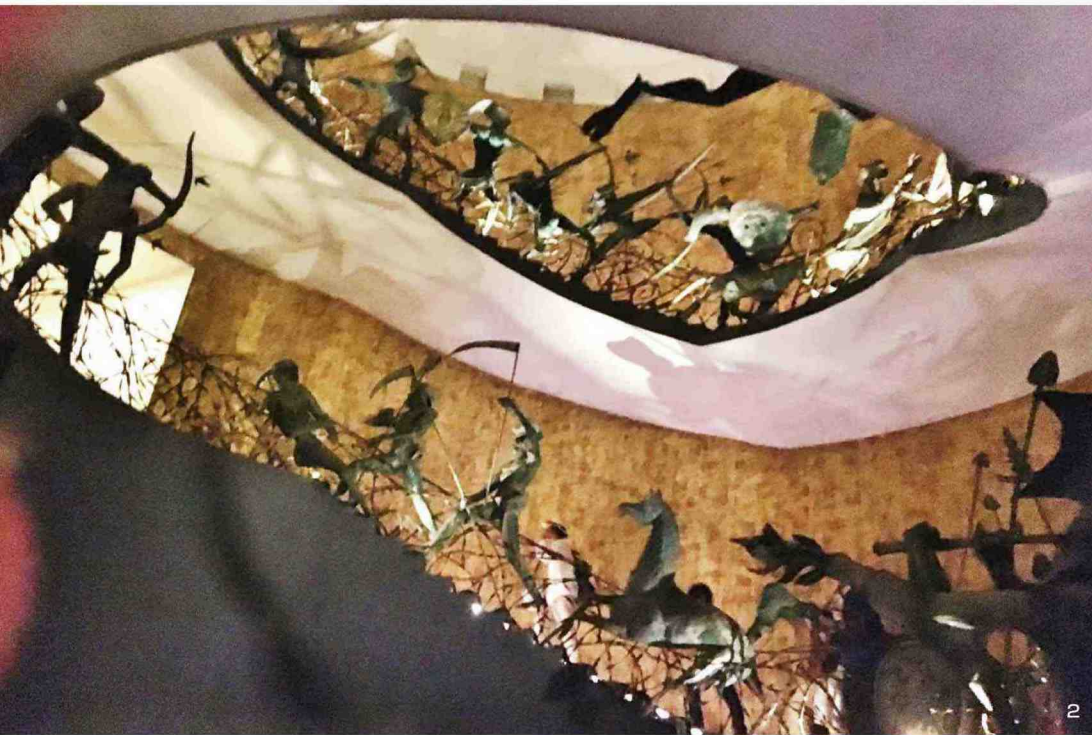
ホテル全体のレイアウトは、幹線道路と海岸に挟まれた細長い敷地に、巧みに配置されている。パワ自らがこの立地を指定したと言われる佇まいは、まさに、ここにあるべくしてあるとの感を強く受ける。ライトハウス・ホテルは、建築が土地の自然や文化と調和することの意味をその存在自体が現している。2004年旧オリエンタルホテルが「アマンゴール」として開業している。

スリランカ最大の都市 コロンボから車で1時間半ほど南のワッドゥワ、インド洋に面してこのホテルは位置している。心地よい響きのその名に相応しく、簡潔で洗練された空間構成が心地よいホテルである。多くのホテルを手掛けたパワが、車椅子を押してもらいながら、集大成として設計した最後の作品。この場所は、もともとココナッツプランテーションだった。林立する

ヤシの木が、ホテルを印象付ける重要な要素となっている。実際パワの設計図にも、椰子の木の位置が一つ一つ書込まれている。歩いていて視界に入ってくるのは、敷地内のあちこちに配された池であり、プールだ。ヴェネツィア運河のごとく張り巡らされた水盤がこのホテルの空間を決定づけている。水とヤシと白い柱とが織りなす静的なコントラストがザ/ブルーウォーターの真骨頂といえる。宿泊者に廊下を散歩する喜びを与えてくれている。端正な空間のところどころに、パワがデザインした椅子が置かれている。デザインのみでなく、そこから見える景色にこだわって配置したとのこと、パワの椅子が重くて大きいのは、簡単に場所を移動できないように、という意味があるそうだ。

1：世界遺産：植民地時代の砦 2：印象的なラキ・セナナヤキの彫刻をあしらった螺旋階段 3：ジェットウイング・ライトハウスの全景、ロケーションは、海を見下ろす岩場の上
4：2階ラウンジからの眺望 5：シンハラ人の伝統舞踊「火の踊り」が演じられた 6：ドーム屋根の部分がシリンダー状の螺旋階段、右はインド洋

1, 2：水盤はレセプションからロビーを越えてレストランまで続く、水に導かれ空間が浮遊しているようである
3：海側からの夜景 4：フロント：後ろの絵は、ラキ・セナナヤキ、頭が7つある蛇の精霊「ナーガ」である



私がジェフリー・パワの名を知ったのは10数年前の雑誌「ブルータス」のアマンリゾートの創業者エイドリアン・ゼッカの特集記事であったと記憶している。その後、雑誌「ElleDeco」や2009「商店建築」のスチール写真が脳裏に刷り込まれてしまった。「想いは叶う」は真実である。思いがけず、サカイの堺社長の口から「スリラン

カ/ジェフリー・パワ」が飛び出した時は「ヤッタ!!」と心で叫んだものでした。氏は事前に2回、現地の下調べをしているほどの熱心さであった。もう1人、発案者の小坂 竜さん、感謝。記事に取り上げた3点のホテルの他に5~6か所を視察~体験しました。モンスーンの熱帯で過ごした1週間は、鮮やかな記憶を残して、あっとい

う間に過ぎたのでした。

ジェフリー・パワの世界(岩本弘光著) 熱帯建築家(隈 研吾・山口由美著) 商店建築 2009/8/9/10月号 CasaBRUTUS #198を参考にさせて頂きました。



「Soda委員会報告」

Soda委員会 品川正之

東日本大震災から6年余りが過ぎました。東北支部の会員の多くが甚大な被害を受けて一時は東北支部も機能不全に陥ってはいましたが、ここにきてやっと日常を取り戻しつつあるように思えます。東北支部長大塚真司氏の熱い要請もあって震災後はじめての東北支部でのSoda活動が東松島市の市立鳴瀬桜華小学校で行われることになりました。鳴瀬桜華小学校は旧市立小野小学校と旧市立浜市小学校が統合されてできた学校で、津波で被害を受けた浜市小学校が小野小学校に吸収された形になっています。校舎は旧小野小学校を使っていますが、近く新校舎が建設されることになっているそうです。ちなみに小浜小学校は1階部分が水没するほどの津波に襲われたものの、一人の子ども達も教職員も犠牲にならなかった学校です。ただ地震には耐えたものの津波の被害は大きく、校舎を放棄せざるをえなかったようです。

当時の浜市小学校の被災時の様子が学校よりネットに公開されているので是非一読をお勧めします。山に近い旧小野小学校の子ども達は「山っこ」、浜に近い旧浜市小学校の子ども達は「浜っこ」の気質を持っているようですが、このような区別は差別やいじめにつながるようなことと学校側では気を使っているようです。でも大人たちの心配をよそに子ども達はみんな開通で明るい笑顔を見せていました。本校舎は合併のため一般教室でいっぱいなので図工室や音楽室などの特別教室はプレハブの仮設校舎に設けられています。その一室、図工室で6年生を対象とした今回のデザイン授業は始まりました。伊澤先生のはじめの言葉に続き、JCD東北支部の大塚支部長の挨拶があり、新藤委員長が講師の紹介をしました。賛助企業からも10名の参加者

がありました。新藤委員長の「デザインで大切な3つの話(寸法・素材・あかり)」、小田切副委員長の「光源と空間の色による見え方の違い」のレクチャーのあと、早速制作に取り掛かりました。インフルエンザの流行と重なり10グループの予定が9グループになりましたが、名前にごだわった和風カフェやレストラン、試合もできるバッティングセンター、地元で根差したスポーツ用品店、ポケモンを元気を売る店、花屋、本屋、カーショップなどそれぞれにごだわりの店が完成しました。いつもの通りあわただしい制作時間ではありましたが、さすが6年生、完成度の高い作品が目につきました。ちょっとした物言いや作品の中に震災の影が覗くのではないかと心配もしましたが、そんなことは微塵も無くこの子ども達とも少しも違わず明るく制作に励んでくれました。

<講師陣>

本部 正会員 新藤 力、小田切純子、木村倫香、品川正之、大滝道晴

賛助会員 菅井雅美(株式会社サカイ)

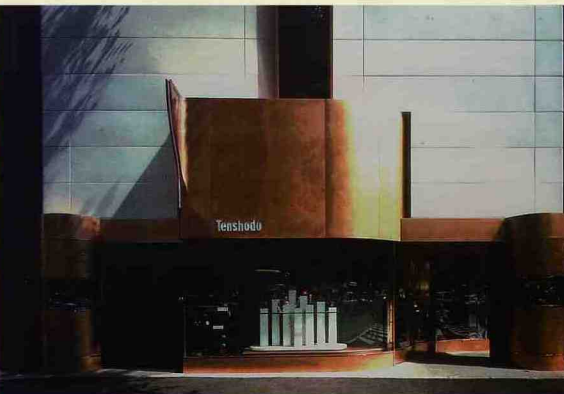
東北支部 正会員 大塚真司、千葉義人、佐藤浩幸、菊地 仁、渡邊直美、阿部秀夫、佐藤康樹

賛助会員 吉永研二(株式会社花森)、菅田悠(ホーコス株式会社)、小野瀬友美(株式会社遠藤照明) 関根 誠・石垣 綾(大光電機株式会社)、但木英子(田島ルーフィング株式会社)、杉本憲治(株式会社ダイナワン)、廣仲和昭・辻本林一郎(株式会社ニッシンイクス)

<ご協力頂いた企業>

株式会社アルベコ、株式会社 サカイ、株式会社サンゲツ、株式会社ダイナワン、田島ルーフィング株式会社、TOTO 株式会社、株式会社ニッシンイクス、株式会社ニップコーポレーション、アイカ工業株式会社、株式会社ダイナワン、スリーエムジャパン株式会社、シーアイ化成株式会社





「あのころ...」

重鎮のデザイン回顧録～第九回

「チャンス逃すな！」

最初で最後のデザインを創る



藤井 栄一 (ふじい えいいち)
1944年横浜に生まれる。専門建築設計組織にてインテリアを中心に一貫して人とファンリテイをつなぐデザインを実践。common design 代表 1992年入会

作詞家の阿久悠は人間万葉歌の中で、夢は砕けて夢を知り愛は破れて愛と知り時は流れて時と知り 友は別れて友と知り。。。と後悔しても後の祭りが人生さ！
デザイン前夜を冬、デザイン時代を春、拡大を夏、グローバル化を秋と我が人生の半生を四季に分け、記憶のノートから思いつくまま断片を記します。

「冬」

16歳 / 高校で木彫作品を工芸担当の先生制作展に非売出展を依頼される。理系進学コースで、当時建築は3Kの代表工学部へ行けば、未だ稀少な花形は工業デザイン。大先輩のカーデザイナーを紹介される。
大学受験倍率は最高！実技試験準備の傍ら「商品とデザイン」誌の全日本自動車ショー記事等をみる。一方で、先生が購読していた1928年創刊の「domus」誌上に展開される別世界とのギャップに圧倒されていた。この頃は20年後に巡ってくる奇縁を知る由も無い。
10代の音楽趣味は、高校でクラシックに始まり自作の大型スピーカーでモダンジャズ。騒がしい前衛が流行ると、顔も名前も知らない演歌歌手に入れ揚げ、長年の応援の甲斐あって新人から大賞歌手に上り詰めた。
両親の古都散策好きの影響で神社仏閣へは良く足を向け、日帰りで田舎道を歩きながら写真を撮ったりして史跡に古代人の生業の偉大さも知った。もちろんモノクロの紙焼きだった。写真家が1961年創業のジャズ喫茶店へ、今も時々顔を出している。

「春」

工業デザイナーを目指した大学では、木材・金属・陶磁器・プラスチック・ガラス・テキスタイル等の材料に直接触れた演習によりクラフト制作の楽しさを知ると、造形力や色彩のイメージの重要さが課題となった。
毎年自主的に催す芸術祭では、外部のアーティスト・デザイナー・建築家を招いたシンポジウムを企画した。参加学生は未だ限られていたが、60年代の情報入手法として以降は恒例の催事となった。
若さからくる好奇心からプロの世界に顔を出し、夜の銀座でウィンドウディスプレイの飾り付けのアルバイト。当時革新的にデビューした造形作家のアシスタントで地方へも交代で運転。現場で空間と光の本質を知った。
モノのデザインから空間の存在に想いが飛躍するチャンスを得たお陰で多くの学友達がモノ系へ進むなか、夜学のお陰で迷わず専攻を決めた。
リビングデザインを卒業制作テーマに選び、インテリアという言葉も市民権を得ていない頃だが、建築内部や周辺のデザイン領域に進路を決めた。卒業後の希望は若し内に海外生活とデザイナーの修行があった。
初めての海外旅行は20歳夏休みの香港・マカオ観光旅行で、帰路の貨客船内で南米に移住したがるまくいかず子供達を連れてやむなく帰国する家族が同乗していたことから、海外移住が容易でないことを認識した。なおイタリア行き冷めやらず、放課後は九段の文化会館の週一会話教室へ。ところが就職時期になり学科主任教授から、学校に初めて総合建築設計会

社からの求人推薦から入社試験を受けるようとのお達し。だが周辺の近親者は受験に賛成50・反対50。自身が決めるしかなかった。大阪本社で入社研修を受けながら社会人としてサラリーマン生活がスタートした。デザインとは与条件に加えワケありの「理に落ちるデザイン」を追求する一方で、自身の根っ子を掘り起こすことにも腐心した。
1970年大阪万博を契機に社員の海外留学志望の社内の規定化が始まった。期限を過ぎても帰らぬ社員もいて両者の相互利益のために創られた。

「夏」

建築専門の組織設計事務所ではデザイナーは少数派であり、基本計画のもと構造・設備の技術者に現場監理など、多勢が協働するプロジェクトチームによってクライアントの要望を受託する。インテリアデザイナーの建築との付き合い方は？
1. 協働するパートナーと徹底的に同調し、互いの完成度を高める。
2. 異次元の世界を空間化する。
3. どちらでもないものは存在価値が希薄で不要。の3分類。
商環境においては、時代背景や要請、流行トレンドに敏感である。
1. と 3. では専門家としては不足で 2. を求められる時代になり、80年代になるとアートメディアのコラボレーションが始まった。
ラディカル化の台頭やポストインダストリーがイタリアを中心に世界に発信され、パウハウス以降の機能先行デザインに対して広く刺激的

な影響を与え始め、第三の波や記号論に由来するトレンドだ。デザイン無くしては人を取り巻くモノや空間から建築までの環境構成が成り立たないほどにメディア化して行った。
物販・飲食店舗・ホテル等をはじめ劇場・オフィス・庁舎・公共空間に提案型デザインの実践を行う中、海外留学研修の援助を約束された。
イタリアにはデザイン専門の大学院がなかったが初めてジオ・ポンティが創刊したdomus誌社がカリキュラムを担当し創設した学校が出来た。来日機会も多く既に知己であり、創作と英才ぶりで著名なデザイナーを連ねて壮観な教授陣で、迷わず応募した。
世界10カ国から集まった40名の若者、最年長の私。これぞ人生の妙！マスター取得後それぞれ各所でグローバルに活躍する状況がSNSで知ることが出来、時には突然の訪日でも交友を今も楽しんでいる。

「秋」

80年代前半にヨーロッパを離れ北米15都市を1ヶ月間視察し帰国するとパブルの前兆が始まっていた。5ヶ月後に銀座の時計宝石店の内外装のリニューアルオープンである。改修理由に大通りをもとより脇道も通行量が大幅に増えたからだ。
イタリアンレストラン、街路に開かれた集客・接客スペース、再開発による複合商業ビルなどのイメージ刷新を求められたが、強烈な滞伊の記憶が新鮮なうちは、秘かにイタリアの想い出を構想の拠り所とした。歴史ある都市国家の街の魅力は、現代都市に創り込むことは不可

能だ。その価値ある特性を再現したいので、マネでなくホンモノとコラボし、滞伊経験者にアートや家具類に協働してもらった。
90年頃からデザイン界にもプロデュース業務が定着し、企業経営の世界展開が始まった。国内パブルの終焉も新たな変革の時代を生んだ。これまで担当した海外プロジェクトは、台湾・サウジアラビア・韓国・中国・トルコ・エジプト・シンガポール・アメリカ等で、プレゼンテーションと現場監理の短期出張が多く常駐はなかった。
JCDに入会したのは個人と集団、独立と組織の職能相互の関係が縦横にクロスオーバーし始めた頃で、会員番号は831であり、大勢力だ。会員としてJCDデザイン賞は奨励賞を受賞したが、奨励の意味が解らず実感に乏しいところから授賞名を各審査員名の賞に変更提案し実現した。協会に貢献した数少ない功績！JCD会員は各方面のエキスパート、多士済々の集まりが集団の魅力だ。
GOLF元年は母の介護元年だ。53歳で初ラウンドがJCDメンバー8名参加の親睦会で、ルールも知らず恥さらし。多くの友人指導のお陰で今も続けてやっとならぬやうに、2度の優勝。今年はゴルフ保険を倍額に増やし2度目のホールインワンに備えた。(笑)
若昔の友にはやさしくて 変わらぬ友と信じ込み あれこれ仕事もあるくせに自分のことは後にする ねたまめように あせらぬに飾った世界に流されず 好きな誰かを思いつける時代おくれの男になりたい 「時代おくれ」より



JCD関東支部 新入会員 新入賛助会員



鈴木 克典
株式会社ファンタスティックデザインワークス 代表取締役
東京都渋谷区神宮前3-6-5 小川ビル2F
03-6455-5080 03-6455-5085 E-mail:suzuki@f-fantastic.com
主な業績:J POP CAFE (2001)、迷宮の国のアリス (2003)、LE CLUB DE TOKYO (2013)、わらやき屋 赤坂店(2014)、ESPRIT TOKYO (2015) 資格・他:1990 株式会社エムディー入社、2001 有限会社ファンタスティックデザインワークス設立、2007 株式会社ファンタスティックデザインワークスに变革



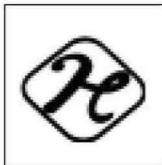
藤村 益生
藤村デザインスタジオ 代表
東京都新宿区西早稲田3-21-6
03-3207-1214 03-3207-1214 E-mail:info@fujimura-ds.com
主な業績:2000年~WEDGWOODショップの設計、2007年~LE CREUSETショップの設計、2008年焼き肉レストラン「庵吉祥」、2009年万松寺納骨堂「水晶殿」、2016年~BELSTAFFショップの設計 資格他日本デザイナー学院インテリアデザイン科卒業 / 1990年から富樫デザインスタジオに勤務 / 1999年 藤村デザインスタジオ設立 / 2016年 藤村デザインスタジオ一級建築士事務所として事務所登録



安井 秀夫
愛知工業大学工学部建築学科 教授
愛知県豊田市八草町八千草1247
0565-48-8121 0565-48-0030 E-mail:yasuia@blue.ocn.ne.jp
主な業績:軽井沢千住博美術館アネックス(物販飲食店舗、2010)、北山モノリス(プライダル、2007)、広島モノリス(プライダル、2010)、高知エルレーブ(プライダル、2007)横浜シーンホテル(ホテル、2007)
資格他:一級建築士



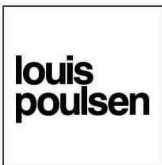
株式会社サンズ
担当 天本 健太郎
東京都港区浜松町1-20-8
山市ビル4F
03-6809-2725
03-5733-5939



有限会社早瀬塗装工業
担当 早瀬 竜也
茨城県常総市豊岡町丙
3836-1
0297-27-6677
0297-27-6678
http://www.hayasetosou.com



デュラビットジャパン株式会社
担当 川原 永嗣
東京都渋谷区恵比寿西2-8-4
平陽ビル6階
03-5428-4605
03-5428-4607
http://www.duravit.co.jp



ルイスポールセンジャパン株式会社
担当 後藤 謙太
東京都港区六本木5-17-1
アクセスビル4F
03-3586-5341
03-3586-0478
http://www.louispoulsen.com



株式会社花とみどり社
担当 岩崎 弥生
東京都墨田区業平1-9-1
03-3622-0878
03-3622-1787
http://www.midorisha.com



株式会社サンゲツ イノベティブプロダクツ推進室

www.garzas.jp

sixinch JAPAN

sixinch JAPAN移転のお知らせ

この度縁あって、文京区本郷にある有形文化財が敷地内にある趣深い場所に、
新たにショールームをオープン致しました。

JR水道橋、地下鉄本郷3丁目駅、都営三田線春日駅の真ん中でアクセスも良く、
よりゆったりとしたスペースにて製品を見て頂けるようになりました。

新たなスタートと出逢いを糧に、次なる展開をめざしてゆきます。

どうぞ、ご期待ください。

sixinchJAPAN Co.,Ltd www.sixinch.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷2-35-10 1F
TEL (03) 6801-6670 FAX (03) 6801-6674
1F 2-35-10 Hongo Bunkyo-ku Tokyo 113-0033 JAPAN

S-design
店舗・商業空間デザイン展 2017

会期 **2017.11.15(水)~17(金)** 会場 **東京ビッグサイト 東展示棟**
10:00~17:00 主催 **JMA** 一般社団法人日本能率協会

“アタラシイ” あります

出展者募集中

出展料金がお得!
早期申込締切 **2017年6月23日**
通常申込締切 **2017年7月21日**

問い合わせ先
S-design / 店舗・商業空間デザイン展 事務局
TEL: 03-3434-1988 FAX: 03-3434-8076
MAIL: design@jma.or.jp

http://www.jma.or.jp/shop/
詳細はWebで 店舗展 検索

輝きが、動き出す。

Shine Facade [エコレダ]

EcoLEDa

特許出願済
意匠出願済

フロント枠からはみ出すことなくすっきりと納められるフロント組込型サイン EcoLEDa。発売から4年、EcoLEDaは新たなステージの扉を開きます。今までのFIX枠に加えて、丁番ドア・自動ドア部分にも組み込み可能になりました。サインの枠を超え、ファサード全体での光の演出が実現できます。

昭和フロント株式会社
http://www.sfn.co.jp
本社 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-7
tel. 03-3293-6737 (代表)

*写真はイメージです。

K KARIMOKU
NEW STANDARD

KARIMOKU-NEWSTANDARD.JP



カリモク家具株式会社

470-2191 愛知県知多郡東浦町大字藤江字皆栄町 108 番地
0562-83-1111 (代)



tsubaki salon

www.tsubakisalon.jp/tsubaki

椿サロン 札幌本店

椿サロン / THE NIKKA BAR (赤れんがテラス店)

北海道 all dining 椿サロン (トママ店)

椿サロン 夕焼け店 (日高)



Cocktail ¥1200~



ROMEO Y JULIETA
MONTECRISTO
HOYO DE MONTERREY



東京都渋谷区猿樂町9-3-B1F
TEL: 03-6455-1865
OPEN: 19:00 ~
B1F, 9-3, Sarugaku-cho, Shibuya-ku, Tokyo.
URL: <http://liquorandcigarettesm.com/>

LIQUOR and CIGARETTES



代官山に小さな Bar を開業しました。

ケアで撮影したチーター達が待っています。



株式会社西脇一郎デザイン事務所



株式会社エヌ・プランニング

• Hanamura

株式会社ハナムラ

東京ショールーム

〒163-1005

東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー 5 階
TEL 03-3344-8438 FAX 03-6302-0355

東京オフィス

〒107-0062

東京都港区南青山 6-10-9 RR 南青山 5F
TEL 03-5774-5512 FAX 03-5774-5631

岐阜オフィス

〒501-6211

岐阜県羽島市正木町南及 5-53-2
TEL 058-391-5146 FAX 058-394-6063

GLAS LUCE
MIRROR CONCIERGE



<http://mirror-concierge.jp>

VIP

<http://www.h-trading.co.jp>

各支部イベント 各支部のイベント情報です。お近くにおいでの際は是非お立ち寄りください。詳細は各支部にお問い合わせください。

本部事業 ●沖縄支部主催平成29年度全国 定例理事会・定時総会 ●Soda委員会	北海道支部	東北支部	関東支部 ●とくトーク(日時未定) ●JCD KANTO DESIGNERS発行/7 月予定	中部支部 ●総会の報告を兼ねた支部総会・ 懇親会
関西支部	中国支部	●トークセッションスタイルのビヤ パーティ ●瀬戸内ヨットクルージングパー ティ ●多度津町並み研究会	●毎月第三金曜日:支部例会開催:大 光電機福岡支店セミナールーム ●6月17日 有田麻林:大乗益菜元 ●10月予定 デザインスクールキャ ラバン開催:小学校出前授業 ●11月予定 JCDアワードパネル展 開催:ナソニック薬院ショール ム	●7月頃 夕涼みBBQ & ボーリング開 催
九州支部	沖縄支部	四国支部	九州支部	沖縄支部

石のソリューションカンパニー

石の厚さを2ミリまで薄切りにできる技術が我が社の強みです。石材にタイル、ハニカム、ガラス、FRPなどを組み合わせた複合板で石材だけでは解決できないお客様の課題を解決する「石のソリューションカンパニー」を目指します。

ソリュート株式会社 代表取締役 奥 弘史

〒101-0031 東京都千代田区東神田2-7-1 (広部ミヤケビル6F)
 TEL.03-5809-2815 FAX.03-5809-2816

株式会社ESG JAPANは、ソリュート株式会社に社名変更いたしました。

JCDとは
 JCDIはデザイナーの団体です。インテリアデザイナー、建築家、空間演出デザイナー、照明デザイナー、グラフィックデザイナーなどによって構成されています。アトリエ事務所であったり、組織設計事務所であったり、ゼネコンの社員であったり、所属も様々です。こうした多岐にわたる個人が国内外のデザイナーと交流し、デザインの視野を広げる場としてJCDIは機能しています。デザインに対する新しい知識を得たい。時代を先導するデザインシーンに触れたい。自分の成果を問ひ、発表したい。高い評価を得たい。社会に貢献したい。JCDIは、そんなキャリアデザインを応援します。

発行:一般社団法人 日本商環境デザイン協会関東支部
 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-6外神田会館101
 tel 03-5207-6707 fax 03-5207-6708
 http://www.jcd.or.jp/ e-mail:info@jcd.or.jp

発行人:小田秀樹/関東支部長
 編集長:古川紳太/広報委員会
 編集委員:大滝道晴/広報委員会

ALBEAM L-Draw

組み合わせ自由。サッシ一体型照明。

FUJI SASH

営業用家具のエキスパート

BELL FURNITURE

株式会社 ベル・ファニチャー

【本社・ショールーム】 〒230-0014 横浜市南区吉野町4-17-3
 TEL:045-252-1411 FAX:045-252-1407 info@bell-f.co.jp/
 【東京ショールーム(予約制)】 東京都渋谷区道玄坂道玄坂1-12-1 渋谷マークシティ ウエスト14F
 (株)オフィス空間内 03-5457-1333(神崎)

JCD PRODUCT OF THE YEAR 2016

SAKAI Rib

リブ材なら株式会社 サカイ S

【ご注文・お見積もりは本社へ】
 本社 〒0120-07-7810 F:0120-96-9433 〒811-0203 福岡県福岡市東区塩浜1-27-24
 (担当不在の場合は必ず事前にご予約下さい)
 東京ショールーム T:03-6300-4341 〒151-0066 東京都渋谷区初台1-29-13BELAIR Kato101

不燃装飾造形 製作施工

みはし株式会社 GR事業部

「イメージを形に」
 特殊形状でお悩みの際は是非ご相談下さい。
 GlassFiber Reinforced(ガラス繊維強化製品)を主軸に
 お客様のイメージを形に行きます。

お問い合わせ・ご用命は
みはし株式会社 GR事業部
 TEL 048-464-3112 FAX 048-466-1034
 E-mail info-gr@mihasi-gr.com

サービス・技術
 設計協力から製作・施工まで空間デザインを全力でサポートいたします。みはし株式会社GR事業部では、幅広いニーズにお応えできるよう、2D・3DCAD制作から5軸NCルーター機による製造まで、データ一元管理による製作をおこないます。これにより、複雑なデザインを立体形状にする事が可能となり、アイデアのご提案から設計協力・サンプル製作・施工提案・製品製作・施工管理まで、全力で皆様のお手伝いをさせていただきます。

取扱い素材
 GRC (ガラス繊維強化セメント)
 GRG (ガラス繊維強化石膏)
 FRC (ガラス繊維強化セラミック)
 EXM (繊維強化セメント押出成形品)
 CE (内装用不燃性壁紙)
 FRP (ガラス繊維強化プラスチック)
 EPS (発泡スチロール)
 Others (木材・不燃木材・樹脂木材・人工大理石 etc)
 PAINT (塗料・特殊塗料・エッジング)

Maristo

人が集う、魅せたい空間を共創する
 商業シーンを彩るタイルを取り揃えています

株式会社アベルコ マリスト営業部 http://www.maristo.jp/
 〒106-0032 東京都港区六本木3-16-33 青葉六本木ビルANNEX2F TEL:03-5573-9201

TERRA

特別な時間を、特別な空間から
 デザイン・ラグジュアリー
 タイルのブランド
 「TERRA」が、
 タイルの概念を覆します。

www.riviera.jp/terra

リビエラ株式会社
 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿 5-3-2
 イマズ西新宿ビル 1F
 TEL:03-6276-3450
 FAX:03-6276-1121
 e-mail:info@riviera.jp

厚さ2mmの特殊左官「エコリバイバル工法」

下地を選ばず、厚さ2mm以内で表現する左官工法

株式会社プラン・ドゥ・モトハシ
 177-0042
 東京都練馬区下石神井3-9-10-1101
 03-5923-6505 / F 03-3904-1920
 info@plando-group.co.jp
 担当 藤原 巧

特殊左官工事

オーダーメイド左官

113-0022
 東京都文京区千駄木4-21-1
 有限会社原田左官工業所
 TEL 03-3821-4969 FAX 03-3824-3533
 http://www.haradasakan.co.jp
 E-mail : sakan@haradasakan.co.jp

「SAKAN LIBRARY」は原田左官ショールームの名称です。

商環境空間に賑わいの演出

FLAGPOLE & others

株式会社 サンポール

東京 〒105-0004 東京都港区新橋 2-2-9
 TEL 03-3591-8501 FAX 03-3591-8561
 HOME PAGE http://www.sunpole.co.jp
 E-MAIL hansoku@sunpole.co.jp
 お問い合わせは営業企画部販売促進課へ